

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		施設整備事業（消防水利施設）						予算事業名		施設整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防組織法 消防法				
			09	01	03	2001	経常経費						
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業					
	2-4安全に暮らせる安心なまちづくり（防災・防犯・安全）												
	④消防・救急体制の強化						担当課係等	防災安全課					
	1消防団施設の整備・更新												
事業期間		継続（平成27年度～令和 4年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
市内の消防水利施設を管理することにより、災害時への対応能力を高める。							消火栓，防火水槽，自然水利等，多様な消火水利を配置し，維持管理する必要がある。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
消防水利施設の維持管理，補修工事，消火栓の維持管理経費。							結城市内の消防水利施設，消防団関連施設。						
【事業をとりまく環境の変化】							老朽化した水利標識や，宅地造成に伴う移設など，様々な要望に対応していく。						
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】					
防火水利標識補修工事，消火栓表示ライン工事，防火水槽改修工事，消火栓設置工事負担金，消火栓維持管理等負担金				防火水利標識補修工事，消火栓表示ライン工事，防火水槽改修工事，消火栓設置工事負担金，消火栓維持管理等負担金				防火水利標識補修工事，消火栓表示ライン工事，防火水槽改修工事，消火栓設置工事負担金，消火栓維持管理等負担金					
■事業費													
			H30年度		R01年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	8,221	8,567						
歳 入 計（千 円）			8,221		8,567								
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）								
	15 工事請負費		1,207		1,646								
	19 負担金補助及び交付金		7,014		6,921								
歳 出 計（千 円）（A）			8,221		8,567								
伸 び 率（％）					4.20								
備 考	総合計画 8 4 ページ 予算書 1 5 2 ページ												

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	水利標識、ライン表示の補修	箇所	目標	60.00	60.00	60.00
	水利標識の修繕及び設置。消火栓、防火水槽のライン表示補修。		実績	63.00	0.00	0.00
	防火水槽補修	箇所	目標	8.00	8.00	8.00
	防火水槽の蓋等の修繕。		実績	6.00	0.00	0.00
成果 指標	消火栓の新設	箇所	目標	5.00	5.00	5.00
	新たに設置された消火栓。		実績	3.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	火災等災害時に使用する水利の標識補修は、必要性、緊急性が高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	A 妥当である	
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	水道施設の更新に合わせて、消火栓の新設を行うことにより、コスト削減を図っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	
進捗度	事業の進捗	A 順調である	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
老朽化が進んでいる箇所が多数あり、補修が間に合っていない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
消防団による水利点検の際に、調査を行い優先順位をつけ予算計上している。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 消防水利及び周辺施設の維持管理により、火災時の消火活動が円滑に実施されるものであり不可欠な事業である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	